

令和3年度 三条市 地域公共交通利用状況

《目 次》

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
2 高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P5
3 井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P6
4 循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P7
5 集計結果の考察と今後の改善策	・ ・ ・ ・ ・	P10

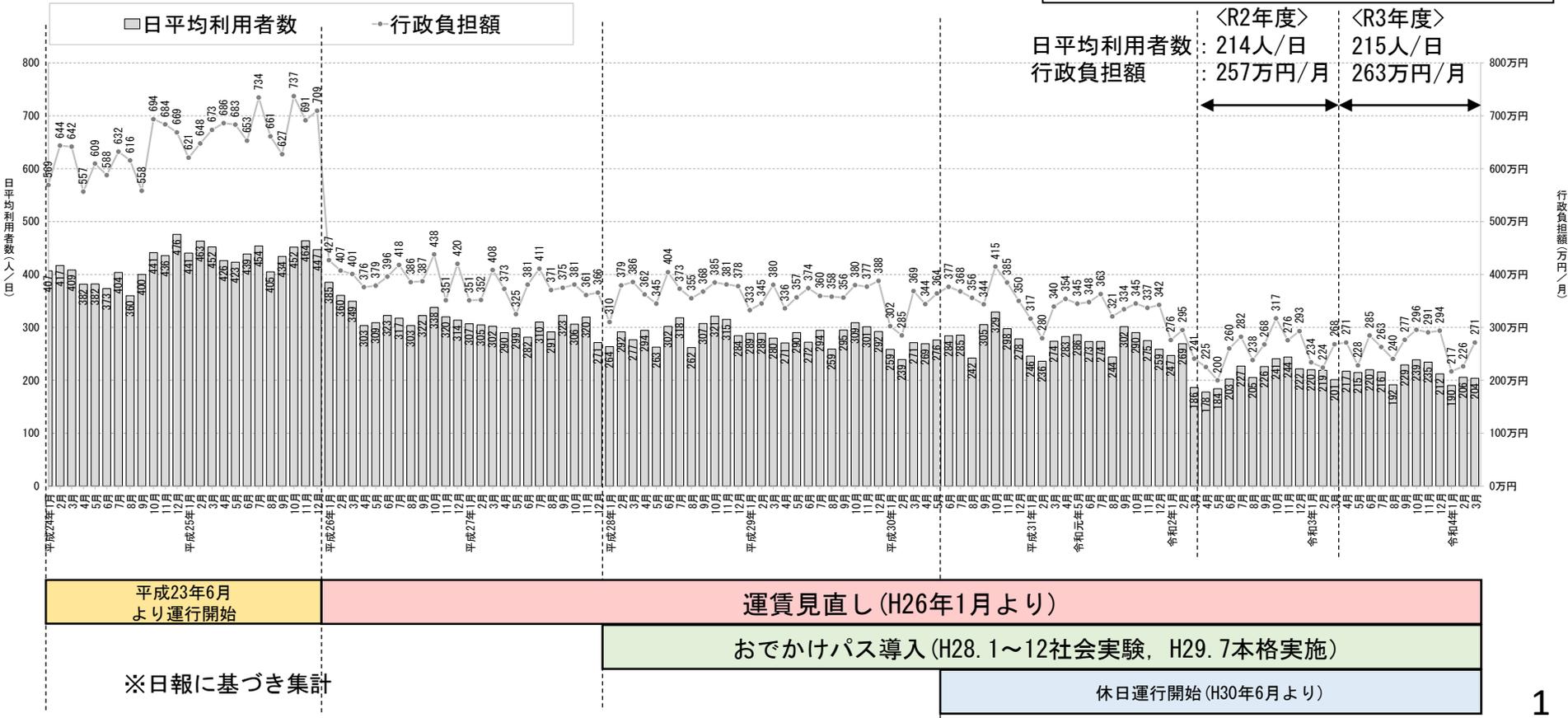
令和4年6月23日～30日(書面協議)
三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(1)利用者数と行政負担額の推移(令和3年度、平日)

●「ひめさゆり」の利用者数は、約215人/日、行政負担額は、約263万円/月で、令和2年度(利用者数:214人/日、行政負担額:257万円/月)と比較して、横ばいとなった。
 →引き続き新型コロナウイルス流行の影響を受けたと思われる。

参考：R3年度目標値 180人以上/日(全日)
 40人以上/日(土曜日)
 15人以上/日(日・祝日)



※日報に基づき集計

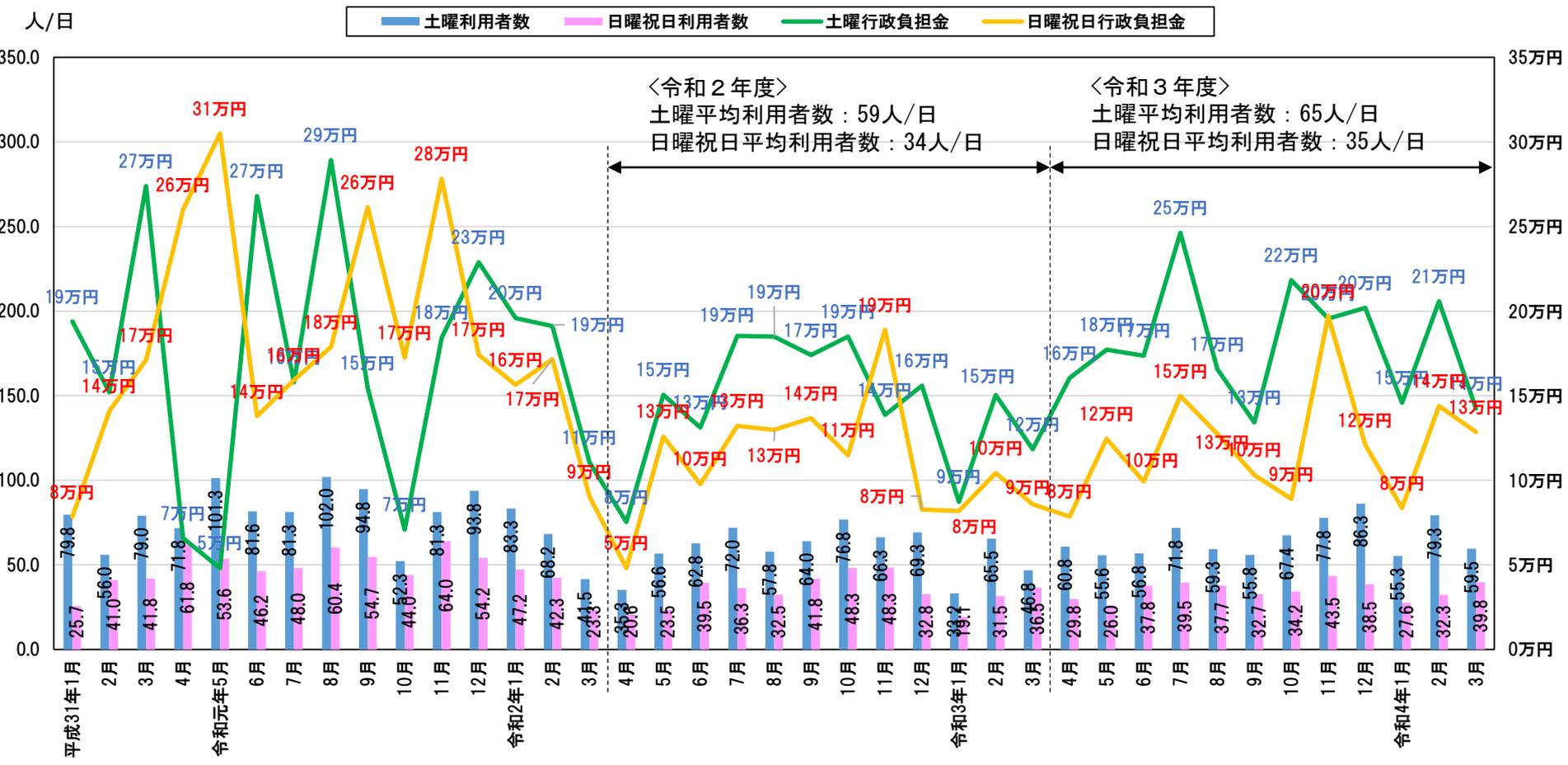
運賃見直し(H26年1月より)

おでかけパス導入(H28.1~12社会実験, H29.7本格実施)

休日運行開始(H30年6月より)

(2)土日祝日の利用状況(令和3年度)

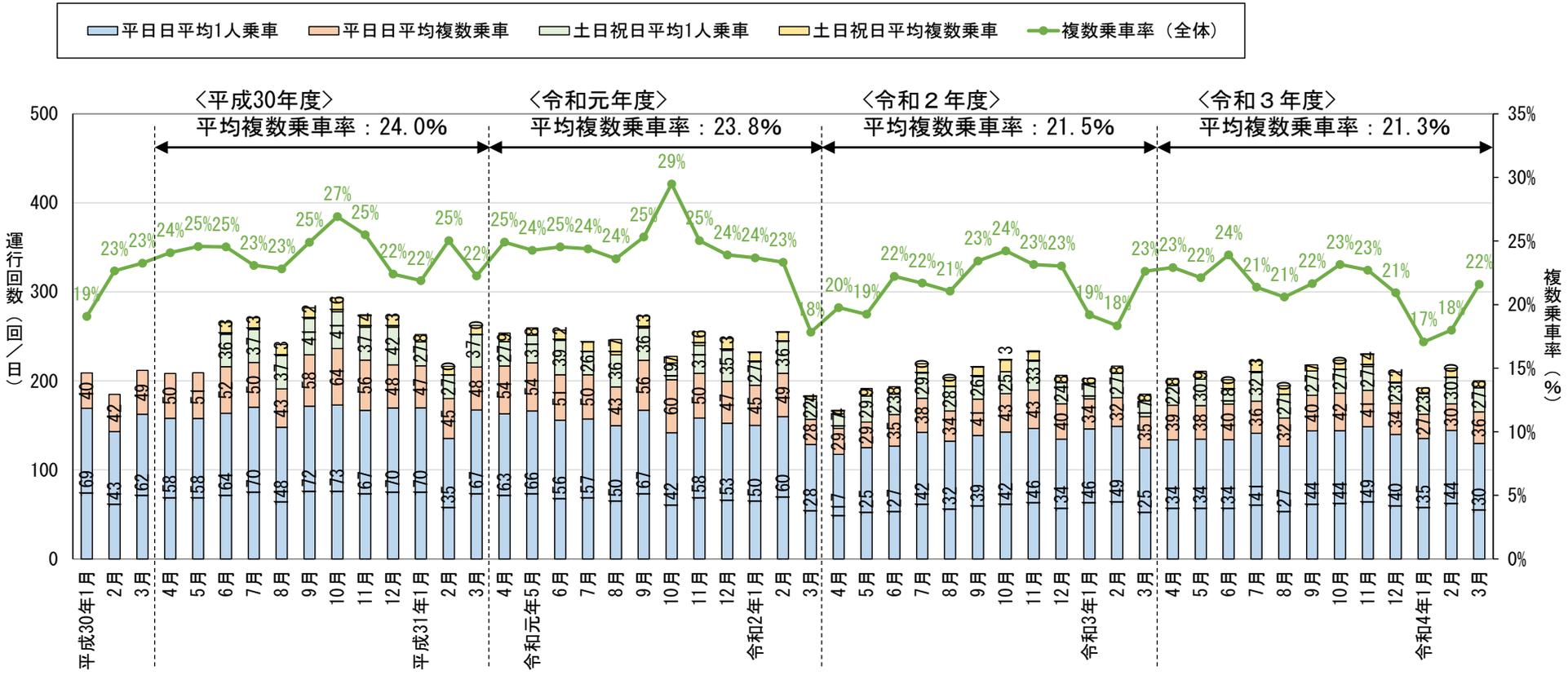
- 令和3年度の土曜の平均利用者数は約65人/日、日曜祝日は約35人/日となっている。
- 令和2年度の利用者(約59人/日、日曜は約34人/日)と比較して土曜はやや回復、日曜祝日は横ばいであった。



※日報に基づき集計

(3) 複数乗車率の推移(令和3年度)

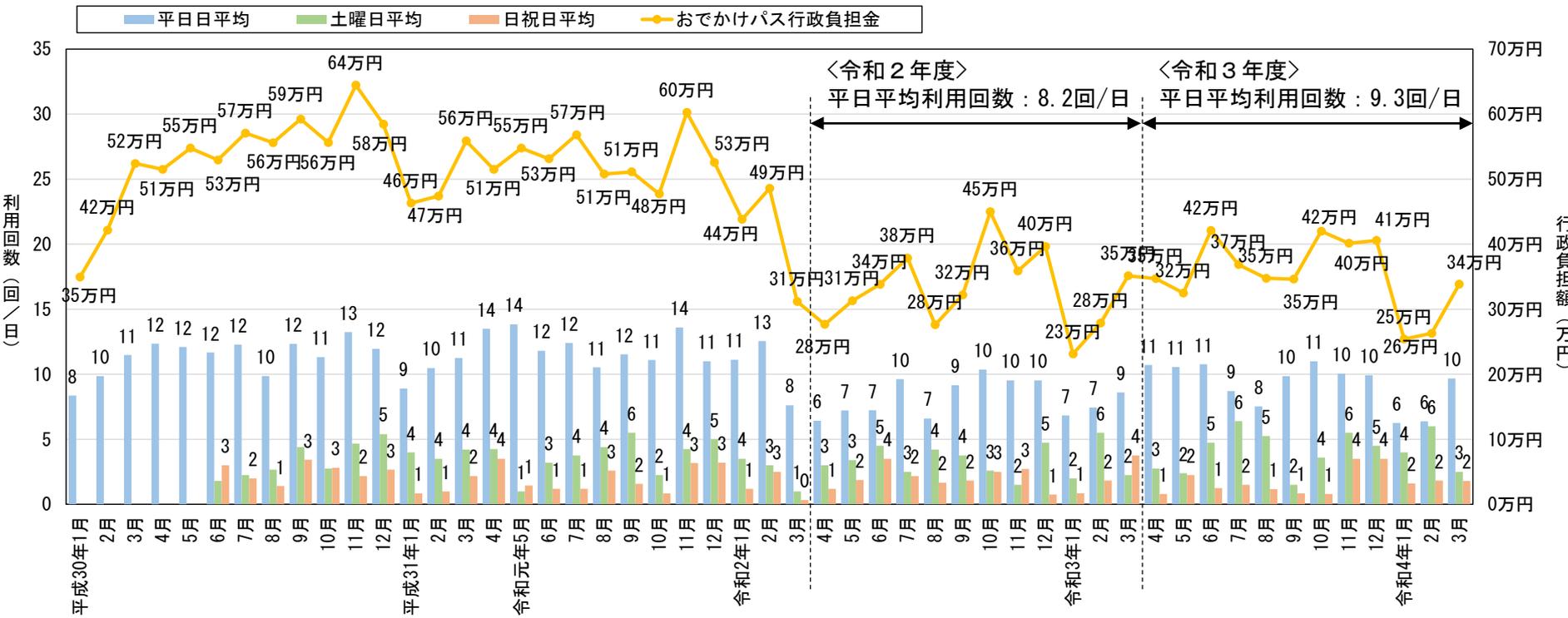
● 令和3年度の年間平均は約21.3%で、令和2年度と比較すると、ほぼ横ばいとなっている。
 (過去3年間の推移: 令和2年度: 21.5%、令和元年度: 23.8%、平成30年度: 24.0%)
 → コロナ禍以前からは2ポイント程度減少のまま推移している。



※日報に基づき集計

(4)おでかけパスの利用実績(令和3年度)

- 平日の利用回数は9.3回/日、土日祝日は1~6回/日で推移。
- 令和2年度との比較においてはわずかに回復傾向。(令和2年度:平日8.2回)



※おでかけパス発行枚数：289枚、協賛店店舗数：61店舗 (R4.3月時点)
 ※日報に基づき集計

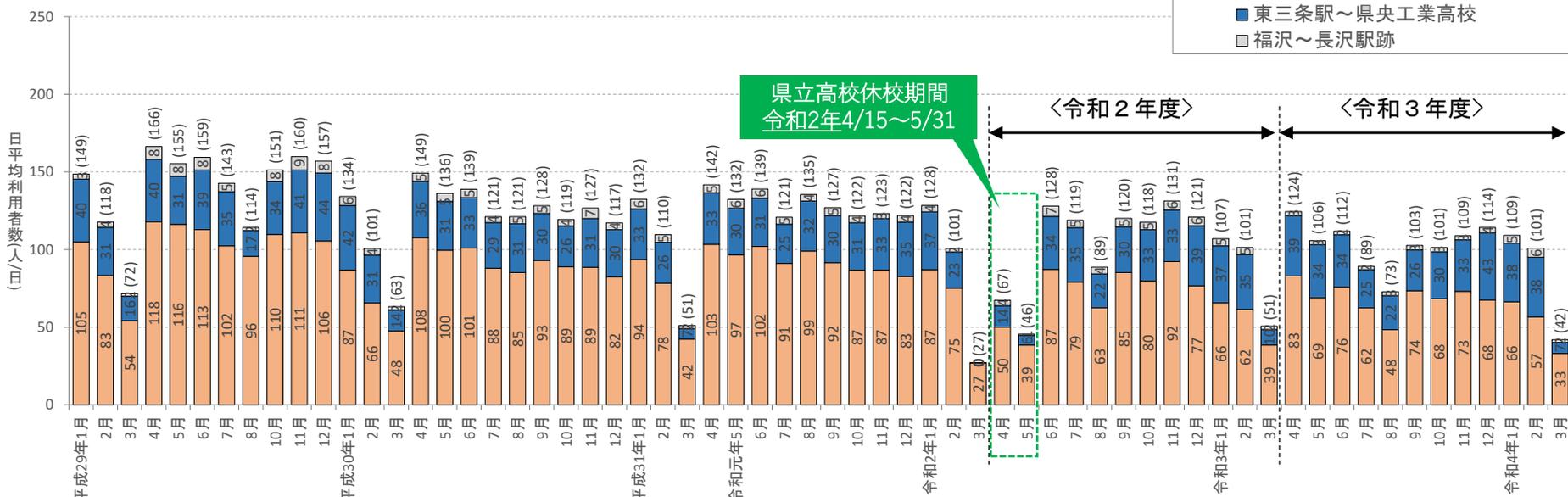
2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移(令和3年度)

● 令平均利用者数は97.0人/日で令和2年度(96.8人/日)と比較して横ばいで推移。
福沢線については利用者が減少している。

	八木ヶ鼻温泉～県央工業高校	東三条駅～県央工業高校 (補助対象路線) ※八木ヶ鼻温泉～県央工業高校の内数	福沢～長沢駅跡 (補助対象路線)
平成29年4月～平成30年3月	140.4人/日	36.6人/日	6.8人/日
平成30年4月～平成31年3月	116.6人/日	28.7人/日	4.9人/日
平成31年4月～令和2年3月	118.9人/日	30.1人/日	4.4人/日
令和2年4月～令和3年3月	96.8人/日	27.7人/日	4.5人/日
令和3年4月～令和4年3月	97.0人/日	31.1人/日	3.1人/日

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少



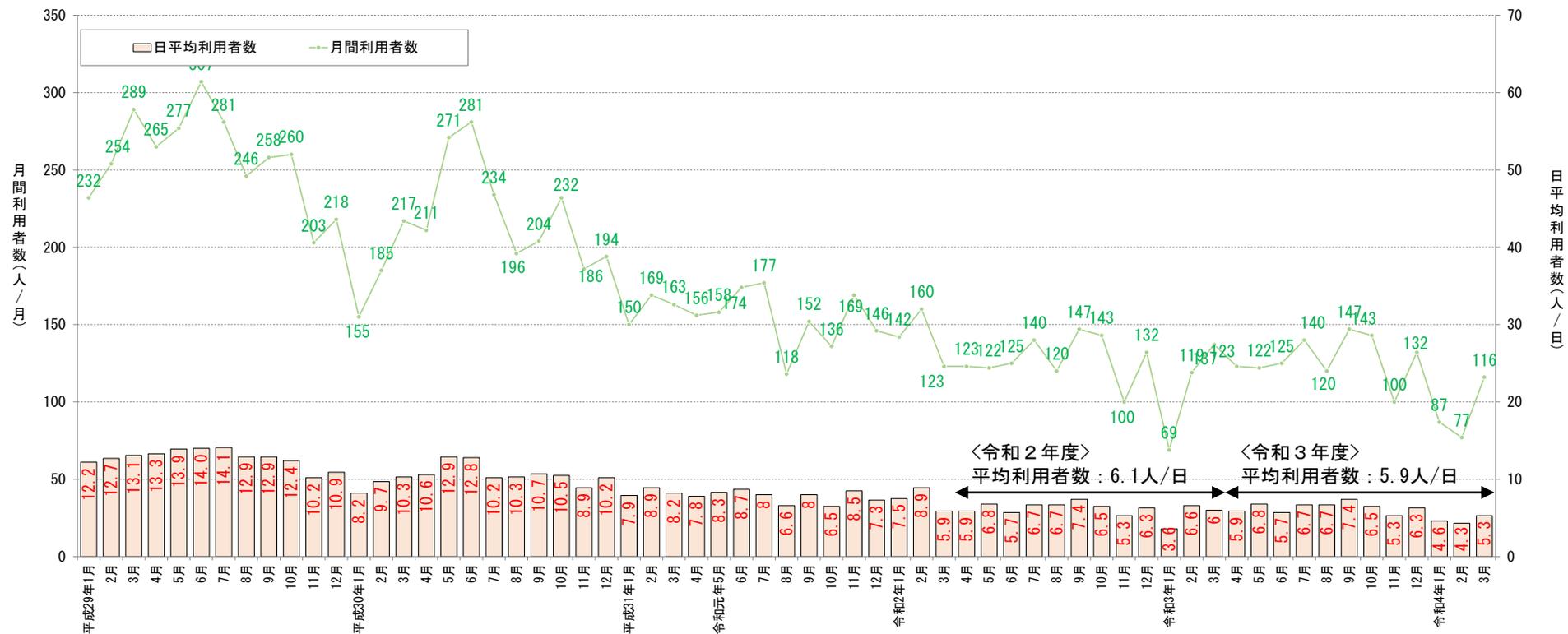
※高校生ライナー利用実績に基づき集計

※()内の数字は合計。合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある。

3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移(令和3年度)

- 年間平均は5.9人/日(令和3年度)。
- 令和2年度と比較し、横ばいで推移している。
(6.1人/日(令和2年度)、7.7人/日(令和元年度)、10.2人/日(平成30年度))



※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

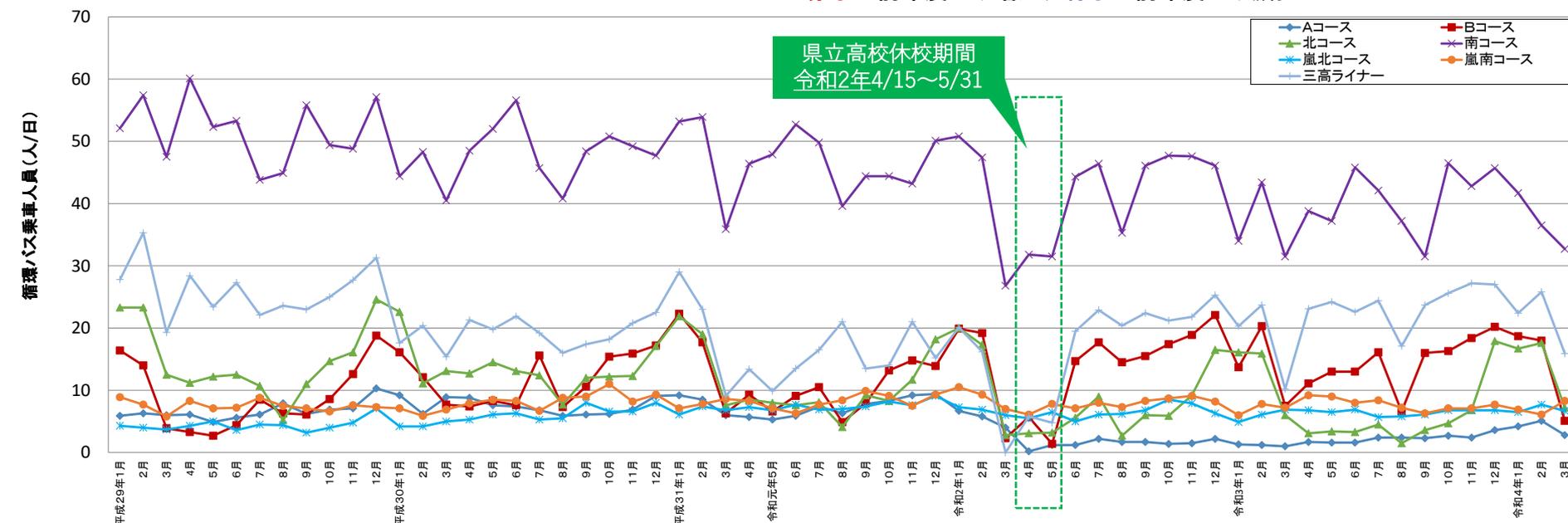
4 循環バスぐるっとさん利用実績

(1) 利用者数の推移(令和3年度)

- 令和2年度と比較し、三高ライナーと全体では増加傾向。
- その他のコースはわずかな増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移。

	Aコース	Bコース	北コース	南コース	嵐北コース	嵐南コース	三高ライナー	全体
平成29年4月～平成30年3月	7.1人/日	8.9人/日	13.8人/日	49.9人/日	4.9人/日	7.3人/日	23.8人/日	115.6人/日
平成30年4月～平成31年3月	7.4人/日	13.1人/日	13.5人/日	48.6人/日	6.5人/日	8.4人/日	21.1人/日	118.6人/日
平成31年4月～令和2年3月	6.8人/日	11.0人/日	10.3人/日	45.3人/日	7.4人/日	8.4人/日	15.1人/日	104.2人/日
令和2年4月～令和3年3月	1.4人/日	14.1人/日	8.3人/日	40.5人/日	6.4人/日	7.6人/日	18.2人/日	96.5人/日
令和3年4月～令和4年3月	2.7人/日	14.4人/日	7.5人/日	39.9人/日	6.6人/日	7.6人/日	23.3人/日	102.0人/日

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少

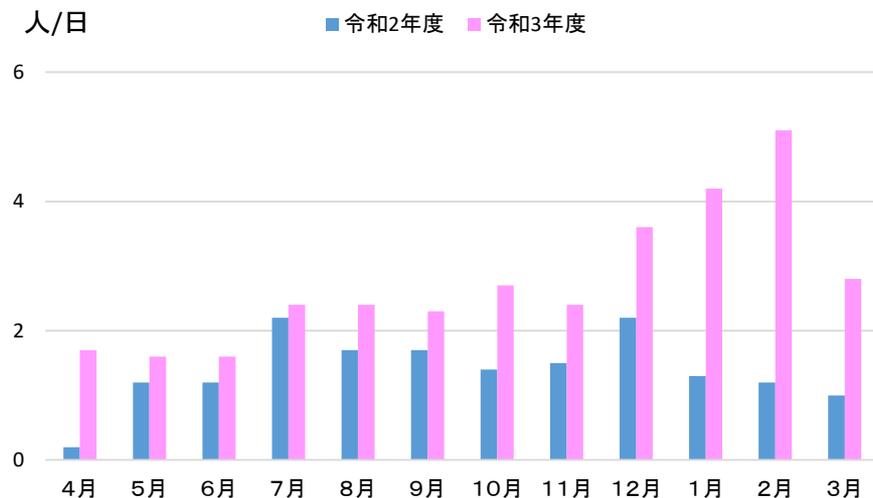


※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

4 循環バスぐるっとさん利用実績

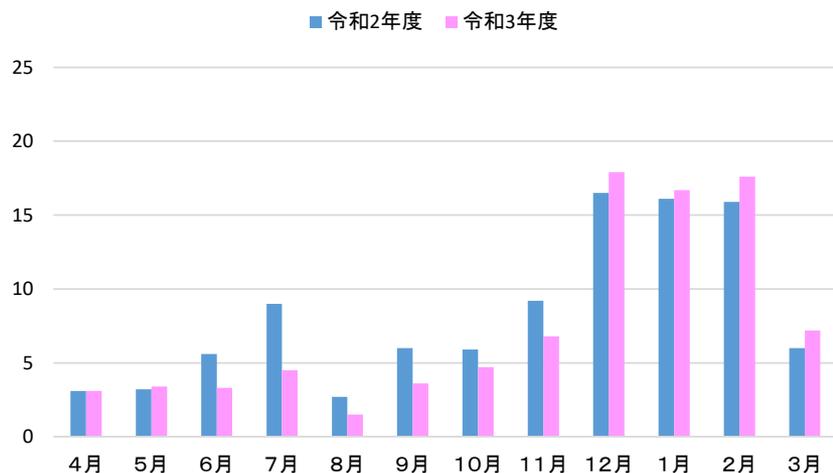
(2)利用者数の詳細分析(令和2年度、令和3年度)

■Aコース



全ての月において利用者数が回復傾向であった。

■北コース

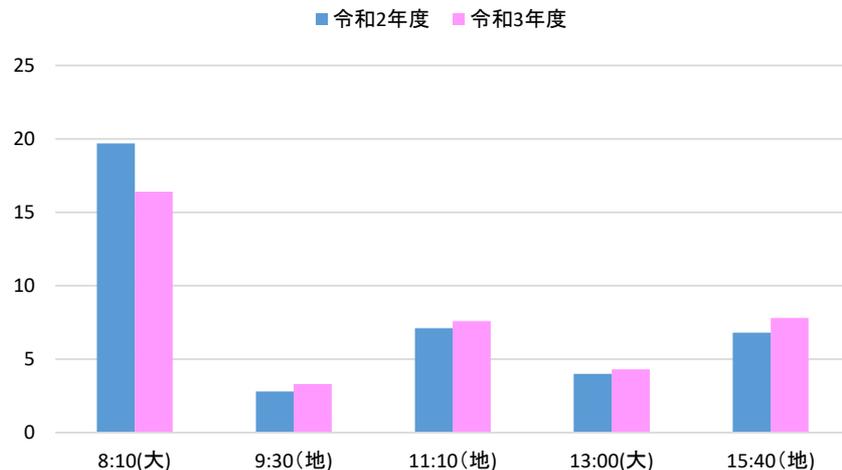


各月で微増、微減しているが、ほぼ横ばいの利用者数となっている。

4 循環バスぐるっとさん利用実績

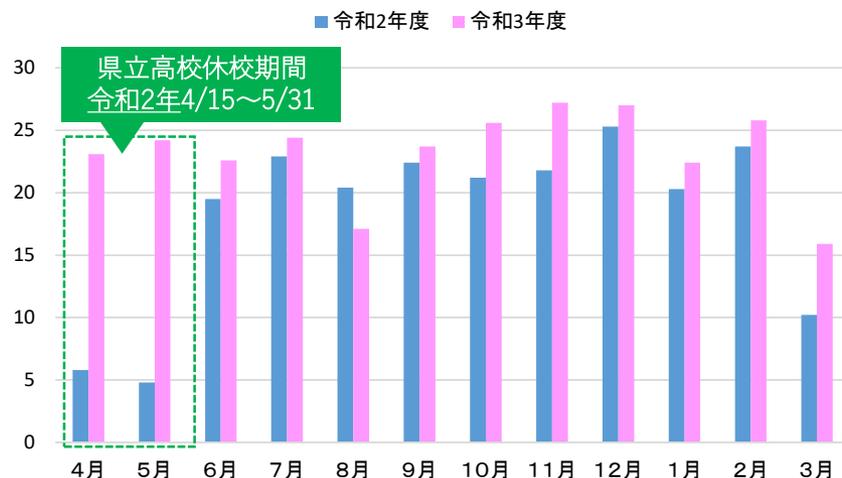
(2)利用者数の詳細分析(令和2年度、令和3年度)

■南コース



全ての便で微増、微減しているが、ほぼ横ばいの利用者数となっている。

■三高ライナー



令和2年度に休校措置があった4月、5月の利用者数が令和3年度では大きく回復し、各月も微増傾向であったため、全体の利用者数が増加した。

5 集計結果の考察と今後の改善策

全体

- 新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度と比較し、令和3年度の利用者数はほとんどの地域公共交通において横ばいで推移している。
- 仮にコロナ禍が収束した後でも、利用者数がコロナ禍前の状態まで回復しないことも想定されることから、利用状況を確認しつつ、以下のような対応策を検討する。

デマンド交通ひめさゆり

- 利用者数について、平日・休日ともに令和2年度と比較し、横ばいの傾向であった。コロナ禍前の水準に回復させるためには、サービスの改善に向け検討する。
※検討内容: 新たな予約・相乗りマッチングシステムの導入、予約可能時間の短縮(現在1時間前となっている)、運行時間の拡大、乗車料金の割引施策など

高校生通学ライナー

- 下田地域のみならず高校生の数が減少傾向にある中で、引き続き沿線の中学校卒業生に周知を図るとともに、東三条駅—高校間の利用拡大を図るため、沿線以外の市内中学校卒業生にも周知を行うなど更なる利用促進策に取り組む必要がある。
- 今後の運行を持続させるために、下田地域の輸送資源の活用も視野に入れながら新たな運行方法も検討する必要がある。

5 集計結果の考察と今後の改善策

井栗地区コミュニティバス

- 利用者数については、令和2年度と比較し横ばいの傾向となっている。住民の一層の利用を促すためにも、自治会内でチラシを配布して周知を行い、地域の足を守っていく意識の醸成に努めていく必要がある。
- 現在実施している地域主体のコミュニティバスの運行内容を栄・下田地域で実施することについても、地元と丁寧に話し合いをしながら利用ニーズ等を踏まえ検討していくことが重要である。

循環バスぐるっとさん

- 全体的な利用者数については、令和2年度と比較してやや増加傾向にあるが、コロナ禍前の利用者数までは回復していない。
- 便名の変更やルートの変更・廃止、ぐるっとさんの統一的なデザインの作成**を今年度行い、利便性の向上を目指す。(令和4年10月から予定、三高ライナーは令和4年4月から変更済)
- 須頃地区において、三条市立大学・専門学校の開学、今後商業施設がオープンすることから**新たな需要に対応するため新規路線を設置**する。(令和4年10月から)
- 他の公共交通の利用状況も踏まえ、利用者の多い地域については**循環バスを走行頻度の変更**を検討する。
- 今後のサービス改善や路線変更の検討のために、**利用者の個人属性やOD(乗降)データの把握が可能なシステムの導入**を検討する。